

議員提出議案 意見書(要旨)

本定例会では、意見書1件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

加計学園問題の徹底した真相究明を求める意見書

安倍晋三首相の「腹心の友」が理事長を務める岡山市の学校法人「加計学園」が愛媛県今治市に2018年4月に新

設しようとしている獣医学部をめぐり、首相らの関与の疑惑が広がっている。内閣府が「獣医学部新設は総理のご意向」「官邸の最高レベルが言っている」などと文部科学省に圧力をかけたとみられる文書が次々と明らかになり、当時事務次官だった前川喜平氏は資料の存在を証言した。

よって、町田市議会は、国に対して、国民の政治の信頼に係る行政をゆがめた加計学園問題について、前川氏等への証人喚問など徹底した真相究明を求めるものである。

内閣総理大臣ほか4件宛て

請願の処理経過及び 結果報告

平成29年第1回定例会において採択された請願について市長から処理経過及び結果について、次のとおり報告がありました。

町田が、子どもを産み育てやすい環境となることを求める請願

請願項目について

学童保育クラブ育成料の受益者負担の割合を「20%以内」(平均10000円の増額)に抑えていただきたい。

障がい者就労並びに、日中活動(生活介護)の機会の拡充を求める請願

請願項目1について

町田市障がい者就労施設等からの物品等の調達方針を毎年着実に拡充して下さい。

経過報告

調達方針、調達目標につきましては、実績等を元に設定し、町田市障がい者優先調達推進連絡会議にて、毎年決定しております。今後も引き続き優先調達の拡充に向け取り

組んでまいります。

請願項目2について
新たな資源ごみ処理施設の稼働において、障がい者就労の機会を設けて下さい。

新たな資源ごみ処理施設整備の運営等の検討において考えていきます。

請願項目3について
重度の方の日の中活動の場を設けて下さい。

経過報告
町田市では現在、障がい者の日中活動の場を提供するため、直営施設、指定管理施設、市の土地建物を使用した施設など様々な方法で支援を行っております。生活介護施設としては、ひかり療育園、わさびだ療育園、ニーズセンター花の家、町田かたつむりの家、町田ゆめ工房、かがやきがございですが、重度の方のための施設は、ひかり療育園、わさびだ療育園、ニーズセンター花の家となっており、引き続き日中活動の場の提供を行ってまいります。

今後、町田市が新たな施設を整備するという考えは考えてはおりませんが、民間事業者より施設の開設相談があった場合には引き続き相談を受け、事業所開設の支援を適切に行ってまいります。

全国1347都道府県及び市区町村の議会を対象に行った議会改革度調査で、町田市議会は、7年連続東京都内1位、全国では16位にランキングされました。

早稲田大学マニフェスト研究所の報告書によると、75項目の調査を行いその結果、情報共有度2位、住民参加度15位、議会機能強化度97位となり、総合で16位にランキングされました。

これは町田市議会の議会改革の三本柱とも言える①議員個々の賛否を色別で明示する電子表決の採用、②生中継と録画の両方での本会議・委員会のインターネット中継、③会議開催の2日前までにインターネットに公開される会議

や提供体制の目標を定め進めているところです。

また、整備を進める方策として、グループホームを建設する民間事業者からの相談対応を引き続き行い、グループホームを建設する際、東京都の補助を確実に受けられるよう施設整備計画を把握し必要なアドバイスや意見書の作成を行ってまいります。

現在、「町田市障がい福祉事業計画」において、グループホームの必要な量の見込み

「議会改革度調査」で 7年連続、都内No.1

の日程や話し合う議題及び請願内容、の効果が大きいかいと言えます。

それらに加えて、④新たにタブレット端末機を導入すること、市全体で20万枚の紙資源の削減、及び150万円以上の人件費を削減したこと

も上位に入った理由と言えます。また、⑤請願者本人が参考人として委員会が発言でき、その発言は委員会記録として永久保存となること、⑥スマートフォンでの議会中継視聴の開始、⑦政務活動費の領収書及び収支報告書のインターネット公開も挙げることができ

ます。

それでは、ここで昨年と比較しながら、議会改革の現状を詳しく見ていきましょう。

まず情報共有の取り組みですが、昨年全国19位から2位に上がりました。その大きな理由は、政務活動費の領収書を平成28年からインターネット公開したこと、⑧インターネットの中継画面を見ながら今そこで議論している議案等

も一緒に見ることができるよう画面変更を行ったこと、⑨議会広報紙を「TAMABEBOOKS」や「マチイロ」に掲載したこと、⑩議会広報紙の配布拠点場所をスーパーマーケットにまで拡大したこと

⑪議会情報をオープンデータとして公開したことなどです。

平成29年度は、⑫政務活動費会計帳簿のインターネット公開、⑬市内高校生に対する議会の広報活動などが新たに加わっていく予定です。

次に住民参加の取り組みですが、昨年全国3位から15位に下がりました。その理由は、町田市議会は地方自治法の参事人制度を利用して市民が請願者として直接委員会が発言

していますので、今までは「市民が直接委員会で発言する機会がある」と回答してしま

した。しかし、今回から設問内容が変更となり、参考人制度を利用しての委員会での発言は市民の発言機会に含めない

となったので、回答が「市民が直接委員会で発言する機会

は設けていない」となったこと

です。しかし、この住民参加の取り組みでは、⑭ツイッターを開始し市民の意見を集める、⑮中学生の職場体験を利用し模擬議会を開催するなど新たな試みを行いましたので、この程度の下落ですみました。

最後に議会の機能強化の取り組みですが、昨年全国57位から97位と大きく下がりました。これは他の市議会が議会基本条例の制定に加え、町田市議会が既に実施している⑯議員間討議、⑰一問一答方式の採用、⑱質問の趣旨を確認する反問権の導入、を始めたことが主な理由だと考えられます。

町田市議会でも全議員がタブレット端末機やパソコンを利用できる環境を整えるなど新しい試みを行いました。平成29年度は、⑲議決事項の拡大、⑳議員の調査研究のためのデータベースの活用

の拡大に努力しています。

町田市議会では、開かれた議会を目指し、今、市議会での市政のどんな内容を問題とし、何を検討しているか、どんな解決策を市議会及び市は考えているのかを市民の方に知ってもらいたいと考えています。

同時にこれからも、市民の方とより多くの話合いの場を設定し、市民の意見を市政に反映させていきたいと考えています。

手話通訳・要約筆記 (ノートテイク)を 希望する方へ

聴覚等に障がいのある方に、手話通訳者や要約筆記(ノートテイク)者の派遣を行っています。

希望される場合は、傍聴希望日の7日前(土・日曜及び祝日を除く)までに、FAX(050-3161-7663)で議会事務局までお申し込みください。

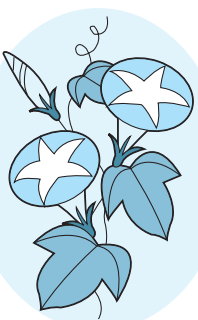
なお、手話通訳者及び要約筆記者の確保ができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

申込内容
●希望する派遣の種類(手話通訳又は要約筆記)
●住所
●氏名
※申込者以外にも手話通訳及び要約筆記を希望される方がいる場合は、他〇名と記載してください。

●傍聴希望日時又は内容

議会での夏期 軽装について

町田市議会では省エネルギー対策として、5月1日から9月末まで軽装で議会運営を進めております。ご理解をお願いいたします。



市議会を傍聴しませんか

市議会は3月、6月、9月、12月に定例会を開催しています。どなたでも本会議や常任委員会を傍聴することができます。市庁舎3階の受付カウンターまでお気軽にお越しください。
次回9月定例会の日程は1面をご覧ください。



町田市議会の会議録

町田市議会のホームページ、市庁舎3階の議会図書室又はお近くの図書館でご覧いただくことができます。
(本定例会の会議録は、8月末に完成予定です。)

